

平成30年度 学校関係者評価報告書

NO. 小11 市川市立平田小学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導（習熟度別）の実施 ・アクティブ・ラーニングの視点で、研究授業を実施 ・基礎・基本の定着を図る ・家庭学習の習慣化（カード活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・たてわり活動で異学年交流を図る ・毎月、校内委員会で児童理解の場を設定 ・道徳・特別支援研修会の実施 ・豊かな体験活動の推進（地域人材の活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会で外遊びの推進 ・正課体育授業の充実 ・栄養教諭の食育への参加 ・生活リズムの定着とカードの活用 ・身を守る安全教育の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより・HP等で積極的な情報発信 ・学校運営協議会だよりの発行 ・学校だよりの自治会への配付 ・地域行事への積極的な参加
2	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで課題となっていた「学習に対する興味・関心」が徐々に向上している。（62%→65%）授業研究を中心にして、今後さらに、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰にでも優しく関わっている」が高い。（95%）代表委員会を中心にしたてわり活動を推進し、思いやりのある優しい心が育っている。 ・今年度から「特別の教科 道徳」が始まった。「考え、議論する道徳」への授業改善を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭での生活習慣づくり」が高い。（96%）学期ごとの生活習慣チェック週間が定着してきた。 ・給食では、和食の煮物の残菜が多かった。家庭科の学習を中心に和食の良さを見直し、食育の充実を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題となっていた「PTA活動への参加」が徐々に向上している。（70%→74%）今後もPTA本部役員と連携し、保護者や地域の方が参加しやすい行事やPTA活動に努めていく。
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・3～6年生に少人数担当者を配置し、算数を中心に少人数指導を展開している。 ・全家庭に「八中ブロック家庭学習のすすめ」を配付し、家庭と連携した取組を行っている。 ・学力向上推進校の市の指定を受け、一人年に3回の授業研究を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会による「あいさつキャンペーン」を年に2回実施している。 ・人権教室、学校支援実践講座等、地域人材を活用して、いじめを生まない、いじめを許さない態度を育てている。 ・特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習を推進している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会を中心に、業間休みに「富士山マラソン」を実施した。 ・体育の授業では、学習活動の場を工夫し、運動量を増やした。 ・いろいろな場面を想定した避難訓練を年に4回実施した。危険予知能力、危険回避能力が身につくように取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校連携推進員と連携し、年間200名以上の地域支援者の方に授業に参加していただいた。 ・学校運営協議会発足2年目となった。社会に開かれた教育課程の実現のために、学校教育目標の共有を図っている。
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5・④・3・2・1 授業参観を通し、どの学年も落ち着いて学習に取り組んでいることがわかった。また、児童の興味・関心が高まるような指導法の改善等が見られた。家庭学習で、自ら調べる力を付けるために、自由学習帳を広げてほしい。	5・④・3・2・1 「誰にでも優しく」の95%の評価は、たてわり活動等の取組の成果だと思う。いじめのない学校にするために、家庭・地域と連携して、児童のサインに気付けるように対応してほしい。	5・④・3・2・1 富士山マラソンは、子供たちの心肺機能を高めるためだけでなく、心も育てる良い取組だと思う。今後も、体力向上とともに、食育の充実を推進してほしい。	⑤・4・3・2・1 PTA活動に対する保護者の意識が高まっているのは、素晴らしいことだと思う。学校だよりやホームページを活用して、さらに対外的に学校をアピールしてほしい。
5	学校への意見	外環道路開通に伴い、登下校の安全に地域と学校が協力して、児童を見守っていききたい。子供たちの未来のために、これからも地域住民の一人として、平田小学校と連携して、子供たちの成長も見守っていききたいと思う。活気ある学校運営に感謝している。今後バランスのとれた学校を目指してほしい。			
6	市教委への意見	平田小は避難拠点でもあるので、トイレの洋式化や全教室へのエアコン設置を早急に進めてもらいたい。特別な支援を必要とする児童が増えている。そのため、人材面でのサポートをお願いしたい。			